



# 木をつかう vol.6

木材利用事例集



お問合せ 一般財団法人 大阪府みどり公社  
森林整備・木材利用促進支援センター  
〒541-0054  
大阪市中央区南本町 2-1-8 創建本町ビル 5 階  
TEL : 06-6563-7321  
E-mail : shien@osaka-midori.jp

発行者 大阪府／一般財団法人 大阪府みどり公社  
発行年月 2025年3月  
印刷・編集 株式会社ウイルハーツ

**木になる紙**

この紙は「木になる紙」A2マット70.5kgを使用しています



表紙・裏表紙 写真提供：2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）会場デザインプロデューサー 藤本壮介氏  
見開き写真提供：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、株式会社大林組 撮影：株式会社伸和

## 発刊によせて

いよいよ2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）が始まります。

シンボルである大屋根リングは、「多様でありながら、ひとつ」という本万博の理念を表す建築物で、建築面積（水平投影面積）約60,000㎡、高さ12m（外側は20m）、内径約615mの世界最大級の本造建築物です。

開催地である関西エリアは、1000年以上の本造の伝統があり、世界に誇る本造建築の技術、日本最古の造林技術や豊かな森林資源にも恵まれています。

世界では、脱炭素やサステナビリティの発想に基づく本造への関心の高さは、もはや一過性のブームではありません。

リングは、神社仏閣などの建築に使用されてきた伝統的な<sup>ぬき</sup>貫接合に、現代の工法を加えて建築したもので、世界中の人に、木を活かす日本の技術に触れて欲しいと考えています。

この技術や資源を最大限に活かすことで、日本が未来社会の実現をリードしていくべきであると思えますし、私自身もこれからもどんどん木を使っていきたいと思えます。

多様な文化や思想を持った方々が、リングに上って会場を巡り、空や海を眺め、未来に向けて思いを馳せる。そして、世界中に木の魅力やその活かし方が広がり、豊かな森と人が共存していく。

リングをそして万博を通じて、その様な「いのち輝く未来社会」が実現していくことを期待しています。



2025年3月  
2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）  
会場デザインプロデューサー  
藤本 壮介

## CONTENTS



### 令和5年度民間施設における木質空間整備事業（大阪府） （森林環境譲与税活用事業）

- 3 江坂ひととき 吹田市
- 5 イズミヤショッピングセンター八尾 八尾市



### 令和5年度森林環境譲与税活用事例

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
| 7 大阪市 此花区役所                            | 16 摂津市 シティプロモーション推進事業          |
| 7 大阪市 西区役所                             | 17 能勢町 町内産木材の名札の導入             |
| 7 大阪市 みなとラウンジ（港区土地区画整理記念・交流館内）         | 17 豊中市 環境交流センター                |
| 8 大阪市 東淀川区役所                           | 17 吹田市 総合防災センター（DRC Suita）     |
| 8 大阪市 西成区役所                            | 18 八尾市 志紀図書館                   |
| 9 大阪市 旭区役所                             | 18 藤井寺市 藤井寺市役所                 |
| 9 大阪市 日吉小学校 ほか22校                      | 19 河南町 河南町役場                   |
| 10 大阪市 中央図書館 ほか19館                     | 19 富田林市 すばるホール                 |
| 10 大阪市 信太山青少年活動センター                    | 19 富田林市 多文化共生・人権プラザ            |
| 10 堺市 フォレストガーデン                        | 20 千早赤阪村 木製玩具（子育て出産記念）         |
| 11 堺市 堺・緑のミュージアム「ハーベストの丘」              | 20 泉大津市 池上曾根弥生学習館              |
| 12 堺市 月州中学校 ほか23校                      | 20 泉大津市 浜保育所 ほか6園              |
| 13 堺市 東三国丘小学校                          | 21 泉大津市 ベンチづくり体験学習             |
| 13 堺市 堺自然ふれあいの森                        | 21 高石市 木製玩具（乳幼児すこやか見守り）        |
| 13 堺市 宮園こども園                           | 21 高石市 高石市役所                   |
| 14 堺市 中区役所 中保健センター                     | 22 忠岡町 木製玩具（出生記念品）             |
| 14 堺市 東区役所                             | 22 和泉市 和泉市農業体験交流施設（いづみふれあい農の里） |
| 15 堺市 町屋歴史館井上関右衛門家住宅（鉄炮鍛冶屋敷）・清学院・山口家住宅 | 22 岸和田市 林道本谷線距離標               |
| 15 堺市 さかい新事業創造センター（S-Cube）             | 23 泉南市 東小学校・砂川小学校              |
| 16 茨木市 文化・子育て複合施設 おにクル                 | 23 田尻町 公民館                     |



### 建築物事例

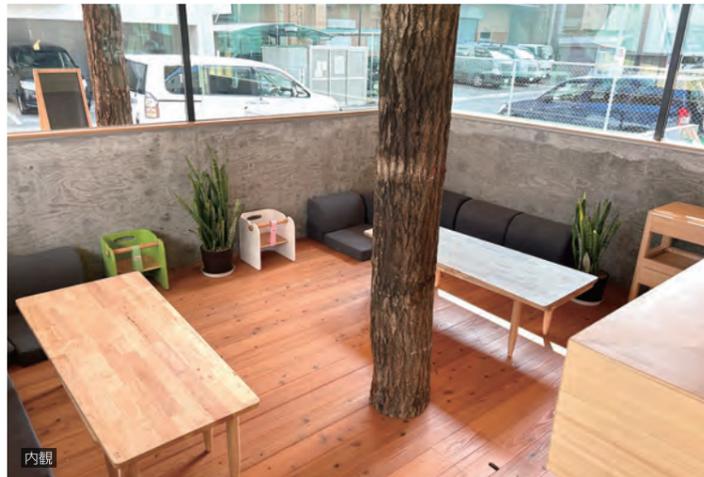
- |                                  |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 24 大阪市都島区 リブウッド大阪城（都島プロジェクト）     | 28 大阪市北区 HIO 梅田茶屋町            |
| 25 東京都足立区 東武鉄道 伊勢崎線 竹ノ塚駅         | 29 寝屋川市 望が丘小学校・中学校            |
| 26 千葉県銚子市 東日本旅客鉄道 総武本線 銚子駅       | 30 大阪市西区 湯元「花乃井」スーパーホテル大阪天然温泉 |
| 27 岩手県気仙郡住田町 大船度地区消防組合大船度消防署住田分署 | 30 大阪市西淀川区 大阪府立出来島支援学校        |

吹田市  
江坂ひととき

木造化 木質化 木製品 普及啓発

飲食店、クリエイティブスペース

写真提供・協力：株式会社 E-konzal、株式会社蘆田暢人建築設計事務所



江坂ひとときは、里山とまちなかをつなぐ地域交流拠点です。

施設内には、大阪府北部の里山地域である能勢町内産の食材などを使ったメニューを提供するカフェ「江坂ひとときテラス」や能勢町内の間伐材を活用して木工などが行えるクリエイティブスペースを設置しており地域の活性化や世代間交流を促進します。

建物は、令和5年度に事業者と吹田市・能勢町・大阪府森林組合との間で建築物等木材利用促進協定を締結し、能勢町内産のクヌギ、コナラ材と大阪府内産のスギ、ヒノキ材を構造材、外内装、什器等に使用することで地域産材の利活用及び脱炭素化に貢献しています。

広場では、芝生貼りやウッドデッキの縁台等を地域住民とのワークショップで製作しました。今後、地域住民の憩いの場やマルシェなどのイベント会場として活用する予定です。

※大阪府CO<sub>2</sub>森林吸収量・木材固定量認証(令和6年度)

所在地 大阪府吹田市  
 主要用途 飲食店  
 敷地面積 853.76 m<sup>2</sup>  
 構造/階数 木造方柱構造/地上1階  
 建築面積 173.71 m<sup>2</sup>  
 延べ床面積 120.30 m<sup>2</sup>  
 耐火性能 その他の建築物  
 使用木材 【構造材】 スギ、ヒノキ、クヌギ、コナラ 14.99 m<sup>3</sup>  
 【外内装】 スギ、ヒノキ 11.34 m<sup>3</sup>  
 【什器等】 スギ、ヒノキ 1.26 m<sup>3</sup>  
 ※全て大阪府内産  
 ※クヌギ、コナラは能勢町内産

木材使用量 27.59 m<sup>3</sup>  
 CO<sub>2</sub>固定量 18.3t-CO<sub>2</sub>  
 設計監理 建築：株式会社蘆田暢人建築設計事務所  
 構造：株式会社山田憲明構造設計事務所  
 施工会社 株式会社一級建築士事務所山本工務店  
 竣工年月 2024年9月  
 事業主体 株式会社 E-konzal (イー Konzal)

✓ 地元で根差した地域材の活用と木材調達



クヌギ、コナラを構造体を使う

能勢町の森林資源を代表するクヌギ、コナラ材を構造材として柱材に皮つきの丸太を活用しました。

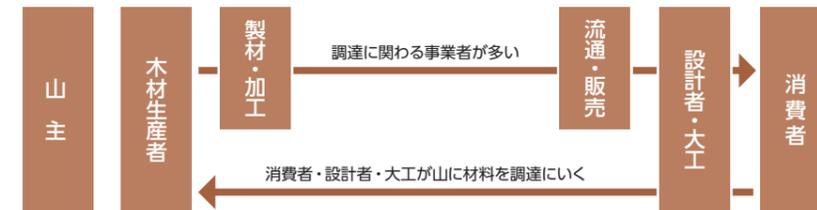
クヌギ、コナラ材を構造材として使うにあたっては、ねじれやすい、加工が困難などの問題があります。素材の形状や状態を直接確認するため、意匠・構造設計者が直接山に行き、柱材を選定しました。材の処理・加工は森林組合、熱化学還元処理事業者、大学や大工と実験や打合せを重ね、実施しました。

能勢町の森を再生する取組み

能勢町の森林は約36%がスギ、ヒノキなどの人工林で残りの64%がアカマツ、クヌギ、コナラを主とした雑木林です。クヌギ、コナラの林は昔から炭焼きなどに利用され、この地域の生活を支える豊かな森でした。

現在、森林組合ではクヌギやコナラを伐採、萌芽更新を行うことで森の再生を進めています。

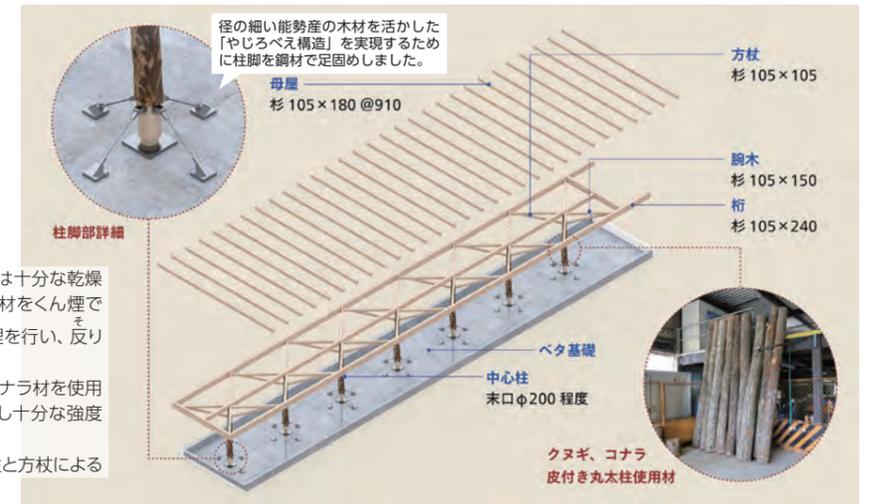
搬出された木材は薪としても販売されています。



木材の流通

日本における木材の流通は複雑で、川上である山主・木材生産者から川下の消費者までの間に関わる事業者が多く、どの山で生産された木材かわかりません。そのため森の魅力も課題も伝わらないの思いから使用する木材は事業者・設計者・大工が自ら調達を行いました。

✓ 広葉樹の建築を実現するためのプロセス



広葉樹の丸太を構造材として利用するためには十分な乾燥を行う必要がありますが時間を要するため、木材をくん煙で熟して寸法の安定性を確保する熱化学還元処理を行い、反りや割れを軽減しました。

また、構造材として一般的ではないクヌギ、コナラ材を使用するため、熱化学還元処理のあと、改めて測定し十分な強度があることを確認しました。

さらに、簡素で単純な構造となるよう、丸太柱と方柱による一列柱の「やじろべえ構造」を導入しました。

✓ 地域の人たちと一緒に作る

地域の人たちと一緒に場をつくる試みとして開催したワークショップでは、芝生貼りや木工クラフト、ウッドデッキの縁台を製作しました。

大人も子供も一緒になって芝を敷き詰めたり、木を植えたり、木材を切ったり、保護塗料を塗ったりと延べ800人を越える人々の力を合わせて製作しました。





八尾市

## イズミヤショッピングセンター八尾

木造化

木質化

木製品

普及啓発

商業施設

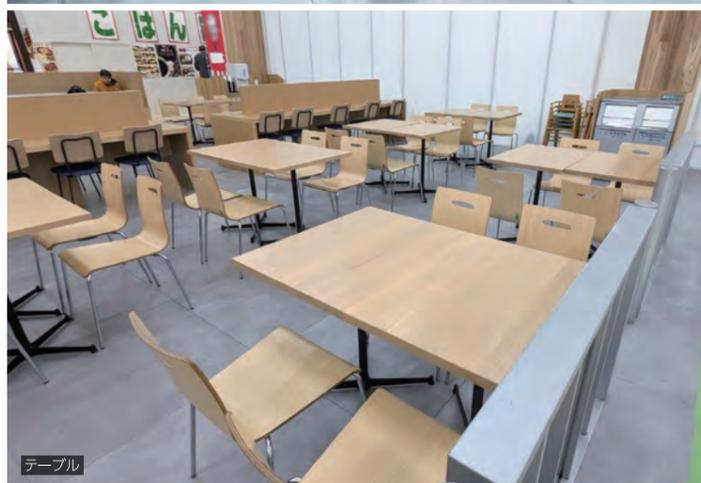
写真提供：株式会社エイチ・ツー・オー商業開発



フードコート全景



コミュニーナルテーブル



テーブル

イズミヤショッピングセンター八尾は食品スーパーなどの大型専門店をはじめ各種専門店（ドラッグストア、衣料品、書籍、アミューズメント、食物販、飲食、理美容、ペット、他）など32店舗の店を揃えている施設です。

事業者グループがサステナビリティ経営方針で重視している「豊かな『地域の自然』を守り、引き継ぐ」をテーマとし、木質空間整備事業を活用することで、フードコート及びお客様用玄関の壁面に木質化を行いました。

地域に根ざしたサステナビリティの取組みを伝えるとともに、お客様からは、きれいになった、落ち着いた雰囲気が良いなど高い評価を得ています。

※大阪府CO<sub>2</sub>森林吸収量・木材固定量認証（令和5年度）

所在地 大阪府八尾市  
 主要用途 商業施設  
 敷地面積 32,129 m<sup>2</sup>  
 構造/階数 鉄骨造/地上3階  
 建築面積 20,100 m<sup>2</sup>  
 延べ床面積 37,783 m<sup>2</sup>  
 耐火性能 耐火建築物  
 使用木材 【内装】スギ 4.31 m<sup>3</sup>  
 【什器等】スギ 3.19 m<sup>3</sup>  
 ※全て大阪府内産

木材使用量 7.50 m<sup>3</sup>  
 CO<sub>2</sub>固定量 4.5t-CO<sub>2</sub>  
 設計施工 株式会社アズ  
 竣工年月 2024年2月  
 事業主体 株式会社エイチ・ツー・オー商業開発

## 施設の特徴



## フードコート中央の円形ステージ

フードコートを単なる飲食空間として利用するのではなく、可変式のサークル状座席を円形舞台としても使用できるようにすることでイベント（小規模のコンサートや地域イベントなど）も開催できる仕様とし、より多くのお客様が集う空間としました。

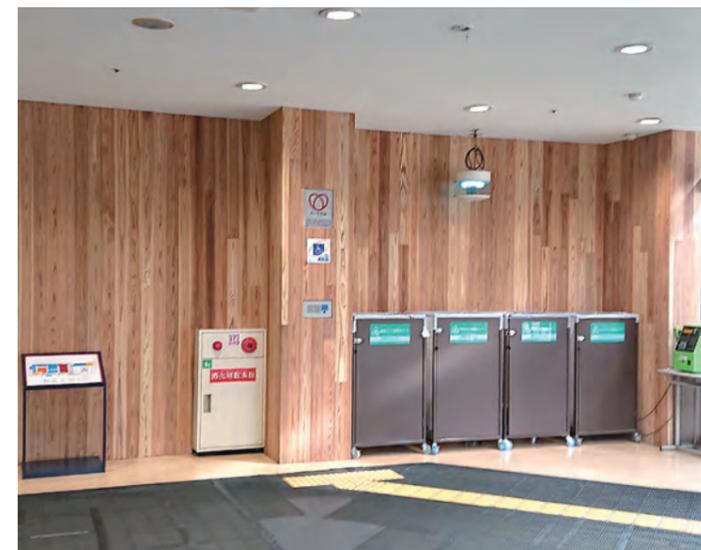
現在は年に3回程度の頻度で音楽演奏会を開催しています。



## フードコート内のキッズスペース

キッズスペースを囲うパーテーションのフレーム柱・梁、腰壁には大阪府内産のスギ材が使用されています。キッズスペース内には絵本を常設しており、それを楽しみに来館されるお子様がいらっしゃいます。

昨年は、館内の書店との共同企画で「えほんよみかせ おはなし会」を不定期に開催し、親子連れ等のお客様に参加を頂いています。



## お客様用玄関

お客様の利用頻度が高い玄関の壁面に大阪府内産のスギ材を使用しました。材料には不燃処理が施されており、燃えにくい性質を持っています。

玄関に入るとスギ材のさわやかな香りお客様をお迎えます。

また壁面には、木質空間整備事業のPRプレートを設置し、お客様に大阪府内産の木材が利用されリニューアルされていることをアピールしています。

大阪市  
此花区役所



木造化 木質化 木製品 普及啓発

庁舎

区役所敷地内(屋外)に来庁者や区民が気軽に立ち寄ることができるスペースとして国内産の木材を活用したパーゴラ、テーブル、ベンチ、掲示板を設置し、多くの区民が木材とふれあえる場を提供しています。また、この取組みを通じて、様々なSDGsに貢献しています。

事業課 大阪市 此花区役所 総務課  
事業費 31,128千円(全額譲与税)  
実績 使用木材:スギ、ヒノキ(国内産)  
デッキ1式 3.34㎡  
パーゴラ1式 0.02㎡  
テーブル・ベンチ1式 0.013㎡  
案内板1式 0.16㎡  
合計 3.53㎡

木造化 木質化 木製品 普及啓発

庁舎

来庁される方々にとってやすらぎや心地よさを感じられる空間を創出し、あわせて環境負荷の低減、森林の保全など、SDGsの推進を目的として、区役所庁舎1階の窓口及び待合スペースを中心に国内産の木材を活用した記載台やカウンターなど設置し、木製品によるリニューアルを行いました。

事業課 大阪市 西区役所 総務課  
事業費 13,811千円(全額譲与税)  
実績 使用木材:スギ(国内産)  
ローカウンター用イス6脚 0.13㎡  
記載台7台 0.37㎡  
カウンター9台 0.38㎡  
発券機1台 0.01㎡  
ブラインド18台 0.34㎡  
リングノート1000冊 0.04㎡  
合計 1.27㎡

木造化 木質化 木製品 普及啓発

複合施設

港区土地区画整理記念・交流会館は、区民センター、図書館、老人福祉センター及び子ども・子育てプラザや店舗からなる複合施設です。本施設の3階に、来館者が憩い・交流する場として、イベント等の開催も可能なオープンスペースとして「みなとラウンジ」を設置しました。また、地下鉄中央線弁天町駅や大阪みなと中央病院と同一階で連絡しており、建物全体のエントランスとなっています。

来館者が最初に訪れる会館の顔として重要な空間である「みなとラウンジ」に国内産の木材を使用した椅子やテーブル等を設置し、自然な温かさや落ちつきのある雰囲気(アメニティ)の創出がなされたと評価しています。

事業課 大阪市 港区役所 協働まちづくり推進課  
事業費 9,240千円(全額譲与税)  
実績 使用木材:スギ、フリ、ブナ(国内産)  
イス(2種)26脚 0.36㎡/テーブル(4種)15台 1.12㎡  
サークルベンチ1台 1.00㎡/パーテーション4台 0.16㎡  
合計 2.64㎡

大阪市  
東淀川区役所



待合いベンチ



受付カウンター



フロアガイド



譲与税活用サイン

木造化 木質化 木製品 普及啓発

庁舎

区民が訪れること、あるいは目にする機会が多い庁舎の1階・2階待合スペースを中心に、内装の木質化や木製什器を導入する等の環境整備を行うことにより、来庁者に木材をより身近に感じていただき、国内産木材の利用促進につなげていきたいと考えています。

整備にあわせて、子どもを対象にした木育ワークショップを開催し、SDGsの17の目標や、森林が果たす重要な役割及び林業が抱える課題について学びつつ、子どもたちに木材の染色体験を行っていただき、染色された木材をベンチや柱の装飾に取り入れました。

事業課 大阪市 東淀川区役所 総務課  
事業費 27,708千円(全額譲与税)  
実績 使用木材:スギ、ヒノキ(国内産)  
壁面木質化 0.02㎡  
カウンター(3種)14台 0.87㎡(うち大阪府内産 0.09㎡)  
発券機1台 0.02㎡  
掲示板(2種)2台 0.008㎡  
フロアガイド(2種)6台 0.04㎡  
サイン(3種)6台 0.01㎡  
ベンチ+カウンター1台 0.50㎡(うち大阪府内産 0.02㎡)  
ベンチ1台 0.29㎡(うち大阪府内産 0.03㎡)  
カウンター天板・腰パネル・サイン1式 0.54㎡  
(うち大阪府内産 0.03㎡)  
受付カウンター天板・腰カバー1台 0.05㎡  
(うち大阪府内産 0.02㎡)  
合計: 2.37㎡



ワークショップの様子

大阪市  
西区役所



待合スペース

大阪市  
みなとラウンジ(港区土地区画整理記念・交流館内)



イス・テーブル

大阪市  
西成区役所



3階:テラス



掲示板



譲与税活用プレート

木造化 木質化 木製品 普及啓発

庁舎

写真提供:大阪市

区役所3階テラスのウッドデッキを改修し、暖かな雰囲気を生み出しました。また、区役所の2階、4階、5階、6階、7階の5か所に国内産の木材を使用した掲示板を設置し、既存の案内サインと調和させることで、利用者が木のぬくもりや優しさを感じられる空間を提供しています。さらに、森林整備や木材利用の重要性を伝えるため、改修したウッドデッキおよび新設した掲示板に森林環境譲与税の活用を示すプレートを設置しました。

事業課 大阪市 西成区役所 総務課  
事業費 21,543千円(全額譲与税)  
実績 使用木材:スギ、ヒノキ(国内産)  
3階 テラス床1式 5.68㎡  
掲示板5カ所 0.03㎡(大阪府内産)  
合計: 5.71㎡

大阪市  
旭区役所



1階：待合スペース



木質化した壁面



カウンター



サイン

木造化 木質化 木製品 普及啓発

庁舎

来庁者にとってわかりやすく、より快適にご利用いただける区役所の実現に向けて、庁舎各階において国内産の木材を使用した美化改修を行うとともに、1階西側フロアのレイアウト再整備により待合スペースを拡張しました。

1階総合案内や各階待合スペースなどの内装木質化、直接手に触れる記載台やイスなどの什器類を国内産の木材を使用した製品へ更新し、木がもつ優しい手触りや香りを通して明るく優しさを感じることができ居心地の良い空間を創出しました。また、多くの方が目にする案内サインやポスター掲示スペースの素材にも国内産木材を使用することで、あたたかな雰囲気を作り出しています。

※大阪府 CO<sub>2</sub> 森林吸収量・木材固定量認証（令和5年度）

事業課 大阪市 旭区役所 総務課  
 事業費 43,050 千円（全額譲与税）  
 実績 使用木材：スギ、ヒノキ（大阪府内産）  
 1階 総合案内、待合スペース、エレベーターホール壁（一部）ほか  
 2階 待合スペース、エレベーターホール壁（一部）ほか  
 3階 エレベーターホール壁（一部）ほか  
 小計 約 150 m<sup>2</sup> 1 式 10.73 m<sup>2</sup>  
 カウンター・テーブル 5 カ所 / イス 約 40 脚 / ベンチ 約 10 台  
 小計 7.36 m<sup>2</sup>

合計 18.09 m<sup>2</sup>

CO<sub>2</sub> 固定量 14.1t-CO<sub>2</sub>

木造化 木質化 木製品 普及啓発

小・中学校

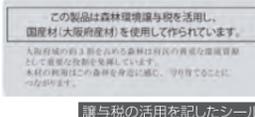
写真提供：大阪市

教育環境改善の一環として、教室用机・イスの整備を行いました。本事業の実施にあたり、国内産木材の使用・森林環境譲与税の活用を記したシールを製品に貼り、児童・生徒に森林整備や木材利用の重要性を伝えていきます。

美しい木目や温かい色合いは、学校関係者や児童・生徒の評価も高く、大切に使用されています。

事業課 大阪市 教育委員会事務局 総務部 施設整備課  
 事業費 53,712 千円（全額譲与税）  
 実績 使用木材：ヒノキ（大阪府内産）  
 スギ、クワ、ブナ（国内産）  
 教室用机 1,737 台  
 イス 1,780 脚

合計 15.13 m<sup>2</sup>  
 (うち大阪府内産 10.05 m<sup>2</sup>)



譲与税の活用を記したシール

大阪市  
中央図書館 ほか19館



書架

木造化 木質化 木製品 普及啓発

図書館

写真提供：大阪市

市立図書館において、閲覧室で使用する国内産の木材を用いた閲覧机・イス・書架等を購入しました。

香りや手触りなどから利用者に好評を得ています。また、身近に木の良さを感じてもらえるようオリジナルグッズを製作しました。

事業課 大阪市 教育委員会事務局 中央図書館 総務担当  
 事業費 18,260 千円（全額譲与税）  
 実績 使用木材：スギ、ヒノキ、クス、ブナ（国内産）  
 書架（16種）51 台 10.63 m<sup>2</sup>  
 絵本架（2種）15 台 0.61 m<sup>2</sup>  
 紙芝居架（2種）2 台 0.15 m<sup>2</sup> / 机（5種）24 台 0.47 m<sup>2</sup>  
 プットラック（4種）11 台 0.62 m<sup>2</sup>  
 イス（6種）48 台 0.74 m<sup>2</sup> / 看板 2 台 0.03 m<sup>2</sup>  
 プックエンド 30 台 0.01 m<sup>2</sup>  
 大型絵本用収納棚 2 台 0.07 m<sup>2</sup>  
 記載台 1 台 0.04 m<sup>2</sup>  
 小型本箱 9 台 0.13 m<sup>2</sup> / オリジナルグッズ（6種）7700 個 0.60 m<sup>2</sup>

合計 14.10 m<sup>2</sup>

木造化 木質化 木製品 普及啓発

青少年野外活動施設

写真提供：大阪市

大阪市  
信太山青少年活動センター



当施設は、主に小学校、保育所、幼稚園などの学校園団体や、子育て層などの家族連れ等のグループ利用があり、野外活動等の体験の場として、多くの市民に利用されています。

これまでも、宿泊棟内の玄関ホールなどのテーブル・ベンチを国内産の木材を用いて木質化を行っています。今回、宿泊棟の玄関ロビーや体育館、食堂の床を、国内産の木材を使用したフローリングにすることで、室内でも自然の温かみを感じられる場を増やし、利用することも違いますが、木の良さを実感する場が増え、施設が提供する自然とのふれあいや創造活動にもつながるものとなっています。

事業課 大阪市 こども青少年局 青少年課  
 事業費 39,135 千円（全額譲与税）  
 実績 使用木材：ナラ（国内産）  
 1階床（体育館、食堂、ロビー）396 m<sup>2</sup> 5.94 m<sup>2</sup>

木造化 木質化 木製品 普及啓発

農林業体験施設

堺市  
フォレストガーデン



当施設は、身近な自然に親しみ、農林業体験を通して健康で活動的なレクリエーションを行う場を提供しています。

施設内には、子どもが駆け回って遊べる広場や高齢者も利用できる健康遊具等があり、近隣住民の憩いの場となっています。

本事業では、自然の中で利用者がより過ごしやすきように、木製ベンチを3箇所に計6台設置しました。

事業課 堺市 産業振興局 農政部 農水産課  
 事業費 2,057 千円（うち譲与税 1,525 千円）  
 実績 使用木材：ヒノキ（兵庫県内産）  
 ベンチ 6 台 0.43 m<sup>2</sup>

令和5年度事例

令和5年度事例



堺市

## 堺・緑のミュージアム「ハーベストの丘」

体験型農業公園

写真提供：堺市

当施設では、馬や羊、ウサギなど様々な動物とのふれあいを体験できます。

今回、「村のエリア」にある動物ふれあい広場内の動物小屋が、建築から15年ほど経過し、老朽化していたことから、兵庫県内産のスギ材を使用してリニューアルしました。

木材の素朴で温かな風合いが、園内の雰囲気とマッチしており、木材が持つ強みを活かすことができます。



外観



内観

事業課 堺市 産業振興局 農政部 農水産課  
事業費 54,806千円  
(うち譲与税 15,614千円)  
実績 使用木材：スギ(兵庫県内産)  
建物 1棟 14.16㎡

木造化 木質化 木製品 普及啓発

写真提供：堺市

施設内の「村のエリア」にある動物ふれあい広場リニューアル工事にあわせて、国内産の木材を使用した看板を設置しました。

緑豊かな本施設の特徴を木材で表し、本施設の代表的な動物「ひつじ」のマークをワンポイントで入れています。



事業課 堺市 産業振興局 農政部 農水産課  
事業費 975千円(全額譲与税)  
実績 使用木材：ケヤキ(国内産)  
看板 1台 0.13㎡

木造化 木質化 木製品 普及啓発

写真提供：堺市

施設内の「村のエリア」に兵庫県内産のスギ材を使用した木製の東屋を設置しました。

当該エリアのポート池周辺には日除け施設等がないことから、施設利用者の方が気軽に利用できる東屋の設置の要望があり、令和4年度に引き続き2棟目の設置に至りました。

野外施設であるため、使用する木材に保存剤を含浸させ、腐れ・シロアリなどの劣化を遅らせ木材の耐久性を向上させる仕様としました。また、周囲との建物とのバランスを考え、同系色となるようにしました。今では施設利用者の方の休憩や日除け施設として役立っています。



事業課 堺市 産業振興局 農政部 農水産課  
事業費 2,497千円(うち譲与税 2,258千円)  
実績 使用木材：スギ(兵庫県内産)  
東屋構造材(集合柱) 1.81㎡



木造化 木質化 木製品 普及啓発

施設内の「村のエリア」にある乗馬体験施設の柵が劣化していたことから、国内産の木材を用いて更新しました。

事業課 堺市 産業振興局 農政部 農水産課  
事業費 2,464千円(うち譲与税 1,601千円)  
実績 使用木材：スギ(国内産)  
柵 1式 1.60㎡



写真提供：堺市

動物とのふれあい体験のほかに、羊の毛刈りなどのショーも定期的で開催しており、来場者が腰を下ろして観覧するためのベンチを購入しました。

材料には本市友好都市の奈良県吉野郡東吉野村内産のヒノキ材を用いています。

事業課 堺市 産業振興局 農政部 農水産課  
事業費 2,420千円(全額譲与税)  
実績 使用木材：ヒノキ(東吉野村内産)  
ベンチ 60脚 2.23㎡

木造化 木質化 木製品 普及啓発



堺市

## 月州中学校 ほか23校

中学校

写真提供：堺市

木造化 木質化 木製品 普及啓発



配膳台

生徒用ロッカー

事業課 堺市 教育委員会事務局 学校管理部 学校給食課  
事業費 42,212千円(全額譲与税)  
実績 使用木材：ヒノキ(大阪府内産)  
(京都府内産)  
ブナ、ウダイ(国内産)  
生徒用ロッカー 380台 4.67㎡  
配膳台 255台 7.58㎡  
(うち大阪府内産 5.57㎡)

合計：12.25㎡

CO<sub>2</sub>固定量 4.5t-CO<sub>2</sub>

市立中学校において、各教室に設置する大阪府内産のヒノキ材や京都府内産のヒノキ材を用いた木製の生徒用ロッカーと配膳台を購入しました。

生徒用ロッカーや配膳台に木材を活用することで、学習机やイスとの調和性が向上し、教室全体で木の温もりを感じられるようになりました。

※大阪府CO<sub>2</sub>森林吸収量・木材固定量認証(令和5年度)

堺市  
東三国丘小学校



木造化 木質化 木製品 普及啓発

小学校

写真提供：堺市

新校舎の図書室で使用する兵庫県内産のヒノキ材を用いた書架を購入しました。

木製品には、プラスチック製品にはない温もりが感じられ、さらに、香りや手触りを通じて、穏やかな気持ちで、読書を楽しむことができる空間になりました。

今後も継続して同様の事例を増やして教育環境の更なる向上に努めていきます。

事業課 堺市 教育委員会事務局 学校管理部 学校施設課  
事業費 1,636 千円 (全額譲与税)  
実績 使用木材：ヒノキ (兵庫県内産)  
書架 5 台 1.00 m<sup>2</sup>

令和5年度事例

堺市  
堺自然ふれあいの森



木造化 木質化 木製品 普及啓発

里山公園

写真提供：堺市

当施設がある南部丘陵は本市でも唯一の豊かな里山環境が残された貴重なエリアです。

本市では、法や条例に基づく緑地保全制度を活用し南部丘陵の豊かな自然環境の保全を図っています。また、里山管理活動など市民や事業者等との協働の取組により、里山環境の保全を進めています。

当該看板は、自然を楽しむことができる里山公園であり、南部丘陵の緑地保全における拠点施設である堺自然ふれあいの森に設置しています。堺自然ふれあいの森を訪れた子ども達へ南部丘陵の自然環境や魅力、保全の必要性について伝わりやすいよう表現し、遠足等で訪れた小学生に説明する際に使用するなど、緑地保全への機運の醸成につながっています。また、自然環境豊かな堺自然ふれあいの森に馴染むように大阪府内産のスギ材を全面に使用した看板に仕上げました。

※大阪府CO<sub>2</sub>森林吸収量・木材固定量認証 (令和6年度)

事業課 堺市 建設局 公園緑地部 公園緑地整備課  
事業費 4,883 千円 (全額譲与税)  
実績 使用木材：スギ (大阪府内産) 木製看板 1 基 0.29 m<sup>2</sup>  
CO<sub>2</sub>固定量 0.2t-CO<sub>2</sub>

堺市  
宮園こども園



木造化 木質化 木製品 普及啓発

認定こども園

写真提供：堺市

公立こども園において、保育室で使用する木材に本市の国内友好都市である和歌山県田辺市の木材を用いた園児用ロッカーを購入しました。木材本来の色を活かしたロッカーを納品したことで、保育室全体が明るい雰囲気になりました。また、園児たちが実際にロッカーに触って木材の手触りの良さを感じています。

さらに、保護者や来園者に木材の良さを実感してもらうため、ロッカー上部に「国産材を使用しています」と記載したラベルを貼り付けて国内産木材使用の周知をすることで木材普及にも貢献しています。

今後も継続して同様の事例を増やして保育環境の更なる向上に努めていきます。

事業課 堺市 子ども青少年局 子育て支援部 幼保運営課  
事業費 1,362 千円 (全額譲与税)  
実績 使用木材：ヒノキ (和歌山県田辺市内産)  
園児用ロッカー 8 台 1.26 m<sup>2</sup>

森林環境譲与税を活用し、国産材を使用しています。

堺市  
中区役所 中保健センター



木造化 木質化 木製品 普及啓発

庁舎

当センター相談室の床カーペットが長期使用により消耗が激しくなり、相談室としての利用環境が悪化していたため、暖かみのある木材を利用したフロアパネルを敷設し、落ち着いた相談いただける環境を整えました。

事業課 堺市 中区役所 企画総務課  
事業費 1,045 千円 (全額譲与税)  
実績 使用木材：スギ (国内産)  
フロアパネル 48 枚 0.33 m<sup>2</sup>

令和5年度事例

堺市  
東区役所



木造化 木質化 木製品 普及啓発

庁舎

写真提供：堺市

国内産の木材を使用したキッズコーナーを施設のスペースに合わせたサイズで購入して、区役所1階ロビーに設置しました。

これまで待ちスペースを設定していましたが、こども・保護者にとって快適な待ち環境ではありませんでした。

絵本を読んだり、くつろいだりしながら時間を過ごせるキッズコーナーを設置したことでお子さまとの来庁時も安心して区役所を利用できるようになりました。また、利用者だけでなく区役所に来庁される方にも国内産木材のぬくもりや香りを感じていただける空間ができました。

事業課 堺市 東区役所 企画総務課  
事業費 1,419 千円 (全額譲与税)  
実績 使用木材：スギ・カバ・ブナ (国内産)  
キッズコーナー 1 式 0.35 m<sup>2</sup>



国内産の木材を使用した授乳ブース、ベンチ、スツールを施設のスペースに合わせたサイズで購入して、区役所1階ロビーに設置しました。

これまでは授乳室が各種手続き窓口から離れた場所にしかなく、ご利用の際は職員へお申し出いただく必要がありましたが、1階ロビーに1組用の授乳ブースを設置したことで利便性が向上し、より安心して区役所を利用できるようになりました。また、利用者だけでなく区役所に来庁される方にも国内産木材のぬくもりや香りを感じていただける空間ができました。

事業課 堺市 東区役所 企画総務課  
事業費 4,719 千円 (全額譲与税)  
実績 使用木材：スギ・ブナ (国内産)  
授乳ブース 1 式 0.07 m<sup>2</sup>  
ベンチ 1 台 0.021 m<sup>2</sup>  
スツール 1 台 0.08 m<sup>2</sup>

合計 0.17 m<sup>2</sup>



堺市

### 町屋歴史館井上関右衛門家住宅(鉄炮鍛冶屋敷)・清学院・山口家住宅 文化財施設

写真提供：堺市

木造化 木質化 木製品 普及啓発



棚

町家歴史館は、令和6年3月3日にグランドオープンした堺市指定有形文化財の井上関右衛門家住宅(鉄炮鍛冶屋敷)および同日にリニューアルオープンした国の登録有形文化財の清学院と重要文化財の山口家住宅の3館で構成された施設です。

本事業では、国内産の木材で製作した什器を設置しました。木製品を使用したことにより、建物との調和を図ることができ、木のぬくもりを感じられるようになりました。

事業課 堺市 文化観光局 歴史遺産活用部 文化財課  
事業費 3,698 千円(全額譲与税)  
実績 使用木材：スギ、カバ、ナラ(国内産)  
テーブル(3種) 6台 0.28 m<sup>2</sup>/棚 1台 0.14 m<sup>2</sup>  
イス(4種) 28脚 0.38 m<sup>2</sup>/ラック 1台 0.02 m<sup>2</sup>  
合計 0.82 m<sup>2</sup>

本事業では、町屋歴史館3館の入館案内や順路誘導などの各種サインを大阪府内産を中心とした木材を活用して制作しました。

木製のサインを設置することにより、文化財である町家歴史館の雰囲気損なうことなく、来館者の方に必要な情報を届けることが可能になりました。

事業課 堺市 文化観光局 歴史遺産活用部 文化財課  
事業費 2,959 千円(一部に譲与税を活用)  
実績 使用木材：ヒノキ(国内産、一部大阪府内産)  
入口案内、順路誘導等サイン(3種) 47点 0.09 m<sup>2</sup>



入口案内



堺市

### さかい新事業創造センター(S-Cube)

交流スペース

写真提供：堺市

木造化 木質化 木製品 普及啓発



Community room cha-shitsu

当該施設は1階のフリースペースにおいて、国内産の木材を使用し、床材の張り替え及びカウンター、机、イス、ウッドパネルなどの木製品の導入を行いました。

イノベーションの担い手となる、起業家・事業者・支援者、若者・女性などが集まり、イノベーション創出に向けて交流・共創する「イノベーション交流・共創拠点 Community room cha-shitsu(茶室)」を開設しました。

事業課 堺市 産業振興局 産業戦略部  
中百舌鳥イノベーション創出拠点担当  
事業費 27,315 千円(うち譲与税 24,835 千円)  
実績 使用木材：ヒノキ他針葉樹、クリ、ナラ(国内産)  
フリースペースの床 135 m<sup>2</sup> 1.90 m<sup>2</sup>/床下地 100枚 1.94 m<sup>2</sup>  
見切材 20m 0.08 m<sup>2</sup>/エントランスカウンター 1台 0.0067 m<sup>2</sup>  
雑誌架 1台 0.01 m<sup>2</sup>/収納庫・ロッカー 1台 0.01 m<sup>2</sup>  
ポスター掲示ボード・ベンチ 各 1台 0.79 m<sup>2</sup>  
パーティション 4台 0.50 m<sup>2</sup>/窓際カウンター 2台 0.0050 m<sup>2</sup>  
イス 40脚 0.36 m<sup>2</sup>/テーブル(3種) 14台 0.47 m<sup>2</sup>  
合計 6.07 m<sup>2</sup>



茨木市

### 文化・子育て複合施設 おにクル

複合施設

写真提供：茨木市

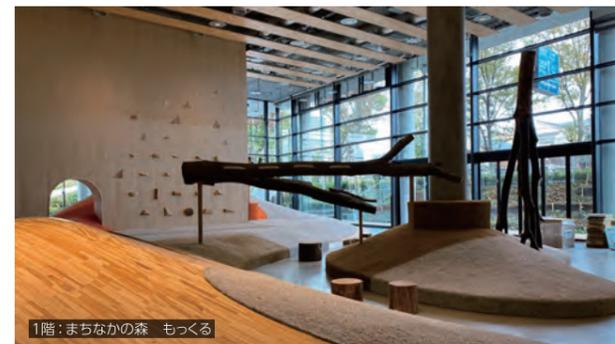
木造化 木質化 木製品 普及啓発



1階：オープンギャラリー 天井ルーバー



6階：和室



1階：まちなかの森 もっくる



1階：まちなかの森 もっくる

施設整備について、仕上材や構造材の一部に国内産のヒノキ、スギ材を使用しました。

同施設内の屋内遊び場でも床材や遊具の一部に国内産のヒノキ、シラカバ材を使用し、自然のままの姿を出来るだけ活かした大型遊具については、隣接する元茨木川緑地の再整備で伐採した樹木を利用しています。

幼いうちから木と出会い「創る」「触れる」「感じる」様々な体験をすることで、こどもの豊かな感性を育みます。

事業課 茨木市 市民文化部 共創推進課  
事業費 木材利用に関するもの 79,985 千円(うち譲与税 76,666 千円)  
実績 使用木材：スギ、ヒノキ、シラカバ(国内産)  
【1階】  
天井ルーバー 941 m<sup>2</sup> 7.05 m<sup>2</sup>  
多目的ホール 床構造材 121.7 m<sup>2</sup> 0.87 m<sup>2</sup>  
大ホール舞台 床フローリング(床構造材共) 807.5 m<sup>2</sup> 34.38 m<sup>2</sup>  
【6階】  
和室 柱他仕上げ材 52.68 m<sup>2</sup> 1.59 m<sup>2</sup>  
【まちなかの森もっくる】  
床の一部 442.46 m<sup>2</sup> 10.83 m<sup>2</sup>  
パネル遊具 12枚 0.06 m<sup>2</sup>  
合計 54.78 m<sup>2</sup>



摂津市

### シティプロモーション推進事業

写真提供：摂津市

木造化 木質化 木製品 普及啓発



銘木の展示・販売

本市にある大阪銘木市場において、銘木その他木材の普及および啓発を促進するとともに、銘木の魅力に触れ、銘木その他木材への理解を深めることを目的とするイベントを開催しました。

同イベントにおいて、銘木の展示・販売や親子で参加できる木工体験を通じて、本市及び大阪銘木市場の魅力を広めています。

今後も、木材利用や普及啓発活動を通じて市民に木の良さを体感してもらい、森林の健全な育成や大切さなどへの理解の醸成に取り組んでいきます。

事業課 摂津市 市町公室 広報課  
事業費 1,948 千円(全額譲与税)  
実績 使用木材：ヒノキ、スギ(国内産)  
木工体験で製作した椅子用の木材 45脚 1.00 m<sup>2</sup>  
銘木朝市で販売した木材 2.00 m<sup>2</sup>  
合計 3.00 m<sup>2</sup>

能勢町  
町内産木材の名札の導入



木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

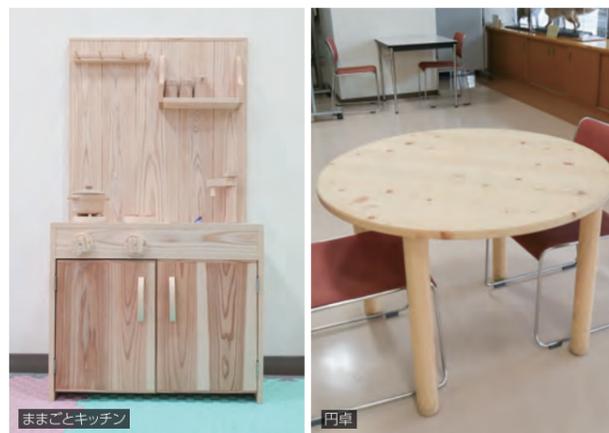
写真提供：能勢町

森林資源の利活用の普及啓発を目的に能勢町内産木材を使用した職員用ネームプレートを作成しました。  
全職員に配布し使用、更新することで、毎年一定量の能勢町内産の木材を利用できるとともに、地域材利用の普及啓発に役立っています。

事業課 能勢町 産業建設部 地域振興課  
事業費 68千円(全額譲与税)  
実績 使用木材：ヒノキ、スギ(能勢町内産)  
名札 41枚 0.0013㎡

令和5年度事例

豊中市  
環境交流センター



木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

交流センター

施設内の、展示スペースで使用する能勢町内産木材のヒノキ材を用いた木製の円卓、スギ材を用いたままごとキッチンを購入しました。休憩に来られた市民には自然な木肌の美しさを実感してもらいました。ままごとキッチンは柔らかく温かみのある感触を感じてもらいました。今後も継続して同様の事例を増やして木材利用の更なる推進に努めていきます。

事業課 豊中市 環境部 ゼロカーボンシティ推進課  
事業費 117千円(全額譲与税)  
実績 使用木材：スギ、ヒノキ(能勢町内産)  
ままごとキッチン 1台 0.01㎡  
円卓 1台 0.03㎡

合計 0.04㎡

吹田市  
総合防災センター (DRC Suita)



木造化 **木質化** 木製品 普及啓発

複合施設

写真提供：吹田市

当センターは、北消防署、北大阪指令センター、高度救助隊などの消防機能、土木部行政機能、教育センター機能等を有した複合施設です。  
内装の一部について、大阪府内産木材のヒノキ材を使用したものです。特に8階から10階までの教育センターは、児童・生徒や相談者などの出入りがあるエリアであり、居心地が良く安らぎを提供するため木質化を行っています。  
教育センターや、一般的な事務エリアのエレベーターホールまわりや会議室、消防専用部分の食堂において、腰壁に木材を使用しました。  
建物全体として木材の魅力を感じられるあたたかみのある空間としています。

事業課 吹田市 消防本部 総務予防室  
事業費 木材利用に関するもの 28,493千円(全額譲与税)  
実績 使用木材：ヒノキ(大阪府内産)  
腰壁 26.10㎡/腰壁見切り 3.80㎡

合計 29.90㎡

八尾市  
志紀図書館



木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

図書館

写真提供：八尾市

当図書館は平成8年の開館以降、25年以上が経過しており、館内の設備・備品の老朽化が進んでいます。なかでも館内3カ所に設置している閲覧用ソファのうち、2カ所については使用できず見苦しい状態となっていました。「ゆっくり本を読むための椅子が欲しい」という来館者からの声もある中で、1カ所については、体が沈みこまず、負担のかからない自然な体勢で資料を閲覧できる長椅子を、もう1カ所については書架を、国内産の木材を使用し設置しました。

材質については、傷がつきにくく丈夫で長持ち、維持管理にかかる負担が軽減できるナラ材を選択しました。当館の主な書架がナラ材を使っていることから、館内備品に統一性を持たせることもできました。

長椅子については、館内東側の日差しが入る明るい場所に設置しているため、多くの来館者にご利用いただいています。

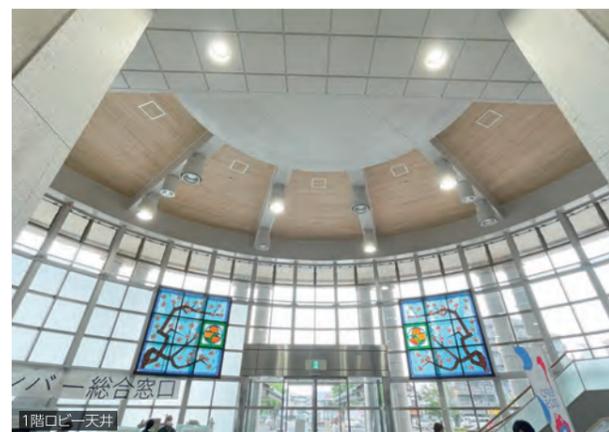
また、書架についても、来館者の目につきやすい図書展示ができるよう設計を工夫しました。時節に応じた図書を展示し、多くの来館者の方の手に取っていただいています。



事業課 八尾市 教育委員会事務局 生涯学習課 志紀図書館  
事業費 2,444千円(全額譲与税)  
実績 使用木材：ナラ(国内産)  
書架・長椅子 1式 0.55㎡

令和5年度事例

藤井寺市  
藤井寺市役所



木造化 **木質化** 木製品 普及啓発

庁舎

市民の往来が多い本庁舎1階のトップライト改修工事において、国内産木材のニレ材を天井材として利用しました。  
今後も引き続き木材利用・木材普及活動について検討していきます。

事業課 藤井寺市 総務部 管財課  
事業費 24,849千円(うち譲与税7,845千円)  
実績 使用木材：ニレ(国内産)  
1階ロビー天井 94.5㎡ 5.00㎡

河南町  
河南町役場



木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

庁舎

写真提供：河南町

本町の豊かな自然や森林資源を住民及び来庁者など多くの方に知ってもらおうと、また、「おおさか河内材」のPRと利用促進を目的に、「おおさか河内材」を活用した本棚を購入し庁舎1階情報公開コーナーに設置しました。現在、年次的に順次木質化を進めています。

広く住民に利用される庁舎1階情報公開コーナーの本棚を地元産の木材である「おおさか河内材」を利用した物に更新することにより、木とふれあい、良さを実感する機会を増やし、需要の創出、宣伝効果と住民や来庁者に対する木材需要拡大といった波及効果を見込んでいます。

事業課 河南町 まち創造部 農林商工観光課  
事業費 799千円（全額譲与税）  
実績 使用木材：ヒノキ（おおさか河内材）  
本棚 3台 0.66㎡

※「おおさか河内材」とは河内長野市、千早赤阪村、河南町一円で産出されている木材をいう。

千早赤阪村  
木製玩具(子育て出産記念)



木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

積木セット

写真提供：千早赤阪村

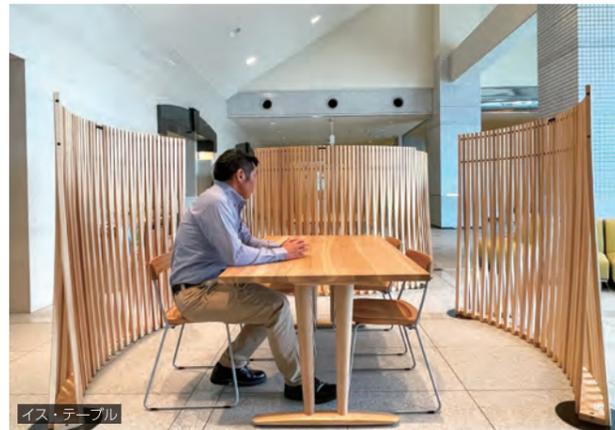
本村では人口減少、少子高齢化の進捗が著しく、出生数も年間20人を切る状態です。このような中、子育て世帯が少しでも村に愛着がもてるよう、地元産材である「おおさか河内材」を使用した木製品玩具をプレゼントする「子育て出産祝い事業」を令和元年度から実施しています。

事業内容は、村内で誕生した赤ちゃんに出生祝い品として、積木を4か月児健康診査時に贈呈し、広報紙で紹介をしています。

小さな頃から木製品に触れることで、木の良さや温もりを感じてもらおうとともに、おおさか河内材を活用することにより、地元産材のPRにもつながっています。

事業課 千早赤阪村 健康福祉部 福祉課  
事業費 97千円（全額譲与税）  
実績 使用木材：スギ・ヒノキ（おおさか河内材）  
積み木 14セット 0.06㎡

富田林市  
すばるホール



木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

庁舎・多目的ホール

現在、市役所建替えに伴う分散配置を実施しており、当ホールのエントランスにおいて来庁された市民の方々に、森林環境譲与税を活用した国内産の木材のベンチ等を使用することで木材の良さを感じ、国内産の木材の利用促進に繋がっていきます。

事業課 富田林市 総務部 総務課  
事業費 4,400千円（全額譲与税）  
実績 使用木材：スギ・ナラ（国内産）  
イス・テーブル 一式 0.80㎡

泉大津市  
池上曾根弥生学習館



木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

博物館

当館において、地元産の材「いずもく」のスギ材を使用したウッドデッキを設置しました。当館は弥生時代の生活を体験学習することが目的の施設ですが、数千年前から日本に息づく木の文化を体験してもらおうことのできる場を創出することができました。

今後も継続して、地元産の材に囲まれた環境のなかで、日本に息づく木の文化について学ぶ事業を進めていきます。

事業課 泉大津市 教育部 生涯学習課  
事業費 11,000千円（全額譲与税）  
実績 使用木材：ヒノキ（いずもく）  
ウッドデッキ 1式 9.50㎡

※「いずもく」とは和泉市内で産出される木材をいう。

富田林市  
多文化共生・人権プラザ



木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

交流施設

当プラザは、市民の地域交流の場として設置されており、来庁された市民の方々が利用するベンチや本棚などに、森林環境譲与税を活用した国内産の木材を使用することで、木材の良さを感じるとともに市民交流の活性化に繋がっています。

事業課 富田林市 市民人権部 人権・市民協働課  
事業費 939千円（全額譲与税）  
実績 使用木材：スギ・ヒノキ・ナラ（国内産）  
ベンチ・本棚 一式 0.30㎡



泉大津市  
浜保育所 ほか6園



木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

保育所・幼稚園・認定こども園

就学前施設において使用する大阪府内産のヒノキ材を用いた木製のおもちゃを購入しました。

木製のおもちゃにはプラスチック製品にはない温もりがあり、塗料を使用していないため香りや手触りを直接感じることができます。また、ヒノキには森の香りを感じさせる物質「フィトンチッド」が多く含まれており、このフィトンチッドには気分のリフレッシュや自律神経の鎮静化等の効果があるため、こども達の表情も明るく穏やかになりました。

事業課 泉大津市 健康こども部 こども育成課  
事業費 999千円（全額譲与税）  
実績 使用木材：ヒノキ（大阪府内産）  
おもちゃ 36セット 0.18㎡

泉大津市  
ベンチづくり体験学習



体験の様子

木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

体験学習

写真提供：泉大津市

間伐材を用いて、公園のベンチを製作することにより、森林環境保全に加え木材の利活用による環境意識の向上を図りつつ、公園への愛着を抱いてもらいました。

事業課 泉大津市 都市政策部 都市づくり政策課  
事業費 249千円（全額譲与税）  
実績 ヒノキ（国内産）  
木製ベンチ 10基 1.25㎡



完成したベンチ

忠岡町  
木製玩具（出生記念品）



木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

積木セット

写真提供：忠岡町

令和5年4月1日以降に出生された新生児を対象に、泉州産の木材で作成された木製玩具（積み木）を4ヶ月児検診の際に贈呈しました。

事業課 忠岡町 産業住民部 産業建築課  
事業費 1,122千円（全額譲与税）  
実績 使用木材：スギ、ヒノキ（泉州産）  
積み木 120セット 0.43㎡

令和5年度事例

令和5年度事例

高石市  
木製玩具（乳幼児すこやか見守り）



木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

積木セット

写真提供：高石市

小さい頃から木に親しみ、興味を持ってもらうため、1歳を迎えた幼児のいる家庭を訪問する際に積み木を贈呈する事業を令和3年度から実施しています。

多くの乳幼児、また親に木の素材に直接触れてもらい、木が本来持っている柔らかさ、温かみ、香りなどを五感でたのしんでもらうことを狙いとして行っています。

令和5年度は約386人の乳幼児に対して、木材に触れる機会を与えることができ、保護者の方々にも喜んでいただけました。

配付している積み木は、本市の友好都市である和歌山県有田川町のヒノキの間伐材を使用しており、当町の持続的な森林の維持保全に寄与しました。

事業課 高石市 教育部 こども未来室 こども家庭課  
事業費 2,153千円（全額譲与税）  
実績 使用木材：ヒノキ（和歌山県有田川町内産）  
積み木 386セット 0.64㎡

和泉市  
和泉市農業体験交流施設（いずみふれあい農の里）



木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

農業体験交流施設

写真提供：和泉市

当施設は、いちご狩りや野菜の収穫体験等で、多くの方にご利用いただいています。

令和5年度は、日差しや雨対策として、受付前に「いずもく（ヒノキ）製」の庇を設置し、利用者の利便性向上を図りました。

柱や梁桁、垂木等を露出した構造にすることで、木の香りや温もりを直に感じることができ、木材利用に関する理解の醸成、いずもくの認知向上を図ります。

事業課 和泉市 環境産業部 産業振興室 農林担当  
事業費 9,999千円（全額譲与税）  
実績 使用木材：ヒノキ（いずもく）  
木製庇 7.01㎡



ロゴマークを掲付け

高石市  
高石市役所



えほんワゴン

ローカウンター

子ども未来室

課名看板

木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

庁舎

庁舎内で、こども未来室を移転することに伴い、こども向け遊びコーナーや絵本スペースを新設しました。絵本棚、課名看板、来客対応用カウンター等を大阪府内産のヒノキ材を用いて製作発注しました。

木製製品は温かみがあり、こどもたちが穏やかな気持ちで絵本に手を伸ばし、本に親しむことができます。また、来客対応用カウンターは手触りが良く来庁者に木製品の良さを感じてもらえます。

こども向け遊びコーナーをホームページや広報誌でPRし、多くのこどもたちに来てもらうことで、木材の良さを実感してもらい、木材普及に貢献していきます。

事業課 高石市 教育部 こども未来室 こども家庭課  
事業費 5,715千円（全額譲与税）  
実績 使用木材：ヒノキ（国内産、大阪府内産）  
パーテーション 3台 0.08㎡/えほんワゴン 1台 0.10㎡  
課内看板 3枚 0.02㎡/ローカウンター 8台 0.84㎡

合計：1.04㎡（うち大阪府内産 0.20㎡）

岸和田市  
林道本谷線距離標



木造化 木質化 **木製品** 普及啓発

林道利用者の利用促進・向上を目的として、林道本谷線に山頂までの距離や勾配などを表記した距離標を200m間隔で設置しました。岸和田市内産のヒノキ材を用いて作成したことで、木材普及に貢献しつつ、日常管理で発覚した問題に対し、的確な位置を説明する点でも効果を発揮しています。

林道本谷線を通行するサイクリストからは、山頂までの距離が一目で分かり、励みになりますといったお声をいただいています。

今後も継続して同様の事業を行うことで、木材普及と林道管理の円滑化に努めていきます。

事業課 岸和田市 農林水産課  
事業費 924千円（全額譲与税）  
実績 使用木材：ヒノキ（岸和田市内産）  
距離標 32基 0.20㎡

泉南市  
東小学校・砂川小学校



木造化 木質化 木製品 普及啓発

小学校

小学校で使用している児童机の天板を大阪府内産のスギ、ヒノキ材を100%使用した集成材で、天板を製造し交換しました。  
活用した木材は、大阪府内の森林で森林密度を調整するため過密となった森林を間伐したものや、計画的な森林更新のために伐採したものです。  
また、森林学習を実施し、森林は循環的に利用していくことが可能な資源であること、健康な森づくりのために間伐作業が大切であることなどを学び、森林からの恵みが私たちの生活とつながっていることに気づき、多面的機能を有する森林への理解・関心を深める機会となりました。

※大阪府CO<sub>2</sub>森林吸収量・木材固定量認証（令和5年度）

事業課 泉南市 教育部 教育総務課  
事業費 5,493 千円（全額譲与税）  
実績 使用木材：スギ（大阪府内産）  
児童机の天板 419 枚 2.45 m<sup>2</sup>  
CO<sub>2</sub>固定量 2.0t-CO<sub>2</sub>

木造化 木質化 木製品 普及啓発

公民館

田尻町  
公民館



田尻町は、大阪府南部の平野部に位置し、関西国際空港の一部を含めても5.62km<sup>2</sup>と小さい町であり、町内に山林はありません。そのため、様々な木材利用を通じて、住民への森林・林業への理解の醸成を図っています。

公民館の図書室に泉州産のヒノキ材を使用した木製の書架を3台設置し、啓発を行いました。

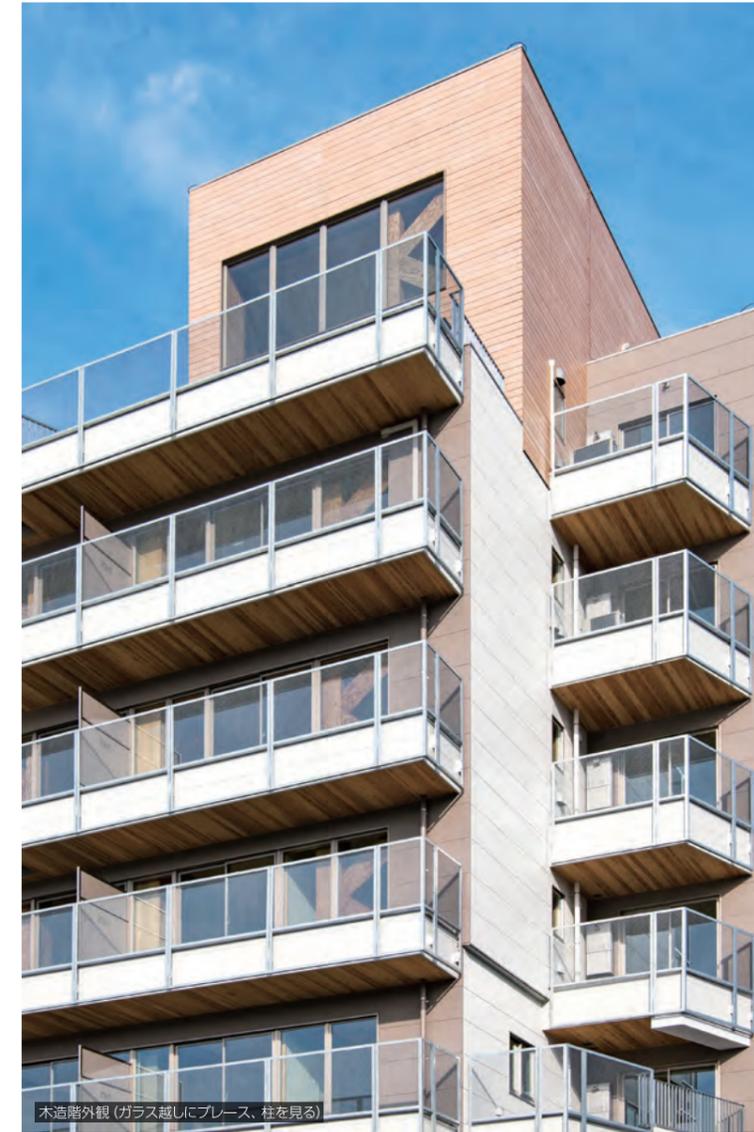
事業課 田尻町 教育委員会 生涯学習課  
事業費 1,188 千円（うち譲与税 882 千円）  
実績 使用木材：ヒノキ（泉州産）  
書架 3 台 0.18 m<sup>2</sup>

大阪市都島区  
リブウッド大阪城（都島プロジェクト）

木造化 一部木造 木質化 木製品

共同住宅・事務所・店舗

写真提供：オリオン建設株式会社



木造外観（ガラス越しにブレース、柱を見る）



構造材をあらわした内装



リブウッド大阪城は、大阪城を望む立地に建つ低層1～3階を鉄骨造、上階4～8階を純木造とした地上8階建て混構造の建物です。施主でもあるオリオン建設が、経験豊富な木造ファブリケーターと協働することで、大手ゼネコンではなく地域工務店主導で中大規模木造建築を実現しました。

木造部分は軸組構造にブレースやCLT耐震壁を採用しています。木造部分は4階を2時間耐火構造、5～8階を1時間耐火構造とし、住戸のリビング等は耐火被覆材の一部に木を使った柱・梁の使用や水平力のみ負担するブレース、CLT耐震壁をそのままあらわしにして使うなど、耐火構造でも木を感じられる工夫をしています。



外観（大阪城側から）

所在地 大阪府大阪市都島区片町  
主要用途 共同住宅、事務所、店舗  
敷地面積 648.38 m<sup>2</sup>  
構造/階数 木造、一部鉄骨造/地上8階  
建築面積 405.03 m<sup>2</sup>  
延べ床面積 2,220.89 m<sup>2</sup>  
耐火性能 耐火建築物  
使用木材 【柱、梁、間柱、ブレース】 LVL：カラマツ  
【小梁】集成材：カラマツ  
【床、耐震壁】 CLT：スギ  
【床】 構造用合板  
【外壁/パネル】 2×4材：スギ 一部外材  
【外壁、内装仕上げ】 LVL：スギ  
特記なき限り全て国内産の木材を使用  
木材使用量 343.35 m<sup>3</sup>  
設計監理 有限会社ビルディングランドスケープ  
一級建築士事務所  
施工会社 オリオン建設・新宅工務店特定建設工事共同体  
竣工年月 2024年10月

撮影：新良太

建築物事例

令和5年度事例



東京都足立区

# 東武鉄道 伊勢崎線 竹ノ塚駅

木造化

一部木造

木質化

木製品

駅舎

写真提供：東武鉄道株式会社



ホームに配置された木やぐら



東側外観夜景



待合室

東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近連続立体交差事業は、竹ノ塚駅付近の約1.7kmの複々線区間において、鉄道を連続的に高架化する事業です。

高架化され、生まれ変わる駅舎のコンセプトを決めるにあたり、日頃竹ノ塚駅をご利用いただいているお客様を対象にオープンハウス形式でのアンケートを実施、そこで得られたご意見から「明るい」、「シンプル」、「自然的」というキーワードを抽出し、設計に反映しています。

ホーム上家には部分的に木やぐらを配置し、東口駅前広場から延びる大通りのけやき並木との連続性を表現、屋根材にはポリカーボネートのトップライトを採用し、その下に木ルーバー、木やぐらを配置することにより、明るさを確保しつつも木漏れ日が降り注ぐような光と影が共存する空間としました。また、夜にはライトアップされたホーム上家の木やぐらが、外壁のガラススクリーン越しにまちを温かく照らす演出としています。

旅客トイレにおいては、トイレ中央の共用部休憩スペースに目隠しを兼ねた木製ベンチを設置し、全体的に曲線を基調としたプランとすることで、柔らかい印象を与えられるよう計画しました。

所在地 東京都足立区  
 主要用途 駅舎  
 敷地面積 1,805.57㎡  
 構造/階数 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造/  
 地上1階（高架下駅舎部分）  
 建築面積 651.25㎡  
 延べ床面積 651.25㎡  
 耐火性能 その他の建築物  
 使用木材 スギ（国内産）  
 木材使用量 51.05㎡  
 設計監理 東日本総合計画株式会社・株式会社交建設計  
 施工会社 鹿島・東武内田・熊谷・東鉄 東武伊勢崎線  
 竹ノ塚駅付近高架化特定建設工事共同企業体  
 竣工年月 2024年3月



千葉県銚子市

# 東日本旅客鉄道 総武本線 銚子駅

木造化

一部木造

木質化

木製品

駅舎

写真提供：東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社



改札前コンコース



内観



外観北東面夜景

銚子駅建替プロジェクトは2011年、耐震診断調査からはじまりました。強度不足のため、耐震補強の手法を模索しましたが、延床面積1,500㎡超かつ木造のトラス構造で柱スパンが長大のため、多額な工事費を要することがわかりました。そこで駅舎単独での建替計画がコスト面で優位と判断し、建替プロジェクトがスタートしました。

新しい銚子駅は、地域の特性を活かし、観光や地域住民に愛される玄関口「ゲート(GATE)」として計画しています。ゲート性をもったフォルムには、駅から各観光地へと、新しい銚子駅を起点に様々な銚子に出会うゲートになって欲しいとの想いが詰まっています。

駅舎建替にあたり、「木造」を採用した最大の理由は、塩害対策です。加えて「公共建築物等における木材利用促進法」により、公共建築物を整備する事業者へ木材利用を促進する責務(努力義務)が課せられている背景もありました。

木の温かみを最大限生かすことを基本方針に、木質空間の演出に工夫をこらしました。改札を抜け駅舎に入ると、吹抜空間のコンコースに迎られます。壁・天井ともに木質建材が全面に張り巡らされており、千葉県の銘木であるサンブスギの香りが立ち込め、まるで森に迷い込んだような錯覚を覚えます。

所在地 千葉県銚子市  
 主要用途 駅舎  
 敷地面積 1,903.53㎡  
 構造/階数 木造/地上2階  
 建築面積 576.84㎡  
 延べ床面積 703.88㎡  
 耐火性能 準耐火建築物  
 使用木材 サンブスギ他(千葉県産)  
 木材使用量 104㎡  
 設計監理 東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社  
 施工会社 鉄建建設株式会社  
 竣工年月 2018年3月



岩手県気仙郡住田町

# 大船渡地区消防組合大船渡消防署住田分署

木造化

一部木造

木質化

木製品

消防署

写真提供：株式会社 SALHAUS



外観



内観



車庫

大船渡消防署住田分署は町の安全を見守る新しい消防庁舎として、防災拠点としての機能と、長く使い続けられる耐久性・フレキシビリティの確保が最重要と考えています。また24時間を庁内で働く消防職員にとっての、快適な執務環境の形成も必須です。木造による庁舎とすることで、住田町の新しい景観をリードし、快適で防災の要めとなる消防分署を目指しました。

構造は高い耐震性と耐震壁の無い間取りの自由度を実現するため、木材の粘り強い特性を最大限に生かした貫（ぬき）式木造ラーメン構造を採用しています。

柱梁の貫の接合部は、木の込栓と楔（くさび）を利用して納めており、接合部に極力金物を用いずに建てる、伝統的な木造建築の技術を踏襲したつくりとなっています。

また車庫部は、同様の構造形式による貫式フィレンディールトラス（多段梁）とすることで、他と共通の部材を利用して、無理なく大スパンの空間を実現しています。

- 所在地 岩手県気仙郡住田町
- 主要用途 消防署
- 敷地面積 4,957.57 m<sup>2</sup>
- 構造/階数 木造/地上2階
- 建築面積 732.82 m<sup>2</sup>
- 延べ床面積 1,029.74 m<sup>2</sup>（うち、分署棟 924.64 m<sup>2</sup>）
- 耐火性能 その他の建築物
- 使用木材 柱：スギ（住田町内産）  
梁：カラマツ（住田町内産）  
CLT：スギ（国内産）
- 木材使用量 238.86 m<sup>3</sup>
- 設計監理 株式会社 SALHAUS
- 施工会社 佐武建設・住田住宅産業・山崎工業特定共同企業体
- 竣工年月 2018年3月

撮影：吉田 誠



大阪市北区

# H'O梅田茶屋町

木造化

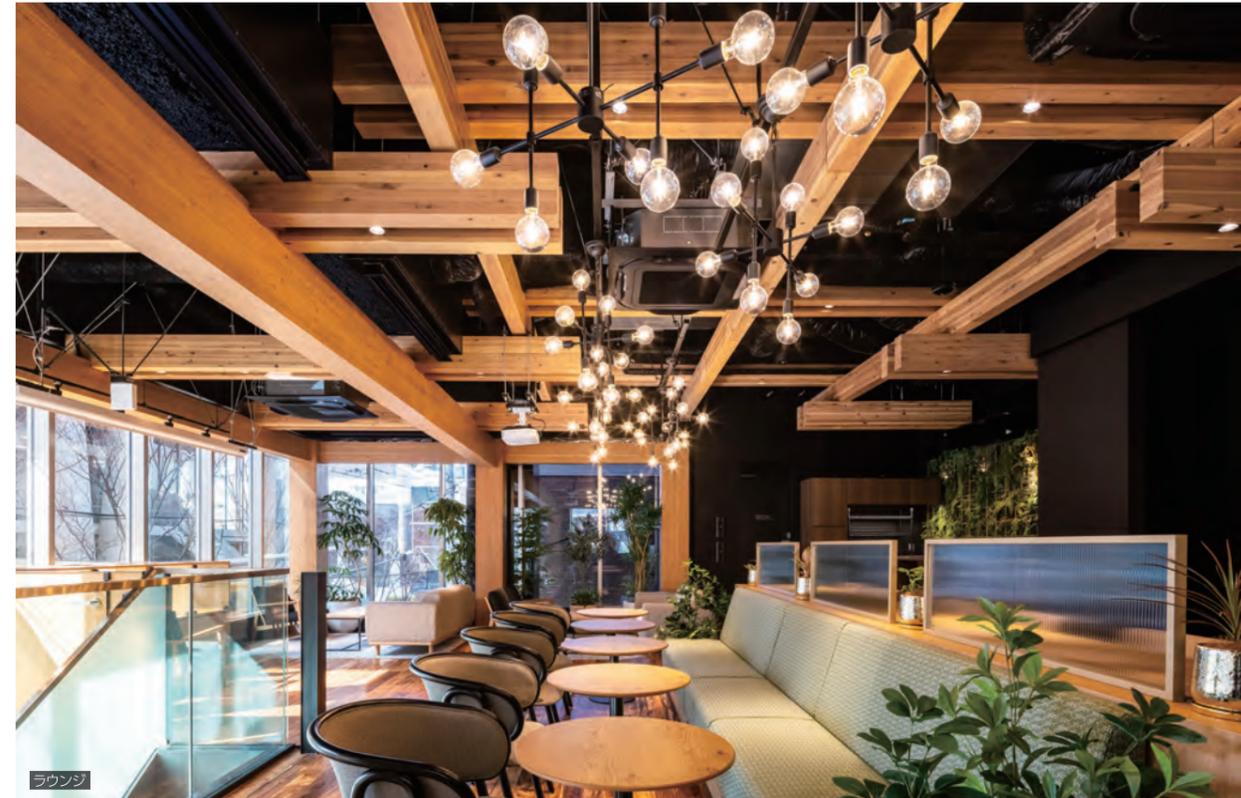
一部木造

木質化

木製品

サービスオフィス

写真提供：野村不動産株式会社



ラウンジ



エントランスホール



エントランスホール



ラウンジ



外観

撮影：川澄・小林研二写真事務所

H'O梅田茶屋町（エイチ・ワン・オー）は、関西中枢都市梅田に立地するサービス付小規模オフィスです。主要構造の一部に木造を採用し、環境価値創造へ取り組みつつ、都市の中でも木の温もりが感じられる空間としてデザインしております。また、働く女性に向けた女性専用ラウンジや、各室でデザインが異なる会議室の設置など、新たな「多様な働き方に対応したオフィス」として計画をしました。

近年建物の木材利用が求められ、自社ビルや研究施設の木造化が進む中、中小規模建物の採用はまだ例が多くありません。本建物では1-2階の主要構造の一部に木造を採用、建物全体は鉄骨造とし、建物内に木造の建物を計画する、ボックスinボックスの構成とすることで、木造部分の必要性能と件を引き下げました。木造部分は多くの方が滞在するエントランスや共用ラウンジとすることで、入居テナント様や来客のお客様も木の空間に触れることができるため、高い評価を受けています。

また、一部には大阪府内産を使用し、地産地消にも取り組んでいます。法的な制限やコスト等のハードルがある中、計画の工夫をすることで今後の中小規模建物の木造化の一助となればと願っています。

- 所在地 大阪府大阪市北区
- 主要用途 サービスオフィス
- 敷地面積 340.84 m<sup>2</sup>
- 構造/階数 鉄骨造 一部木造/地上8階
- 建築面積 296.65 m<sup>2</sup>
- 延べ床面積 2,187.33 m<sup>2</sup>
- 耐火性能 耐火建築物
- 使用木材 柱・間柱・梁等【カラマツ（岩手県産）】【天井化粧格子】スギ（岸和田市内産）【不燃木材】スギ（石川県内産）
- 木材使用量 約31 m<sup>3</sup>
- 建築主 野村不動産株式会社
- 設計監理 東急建設株式会社関西支店 一級建築士事務所
- 施工会社 東急建設株式会社
- 竣工年月 2022年2月

建築物事例

建築物事例

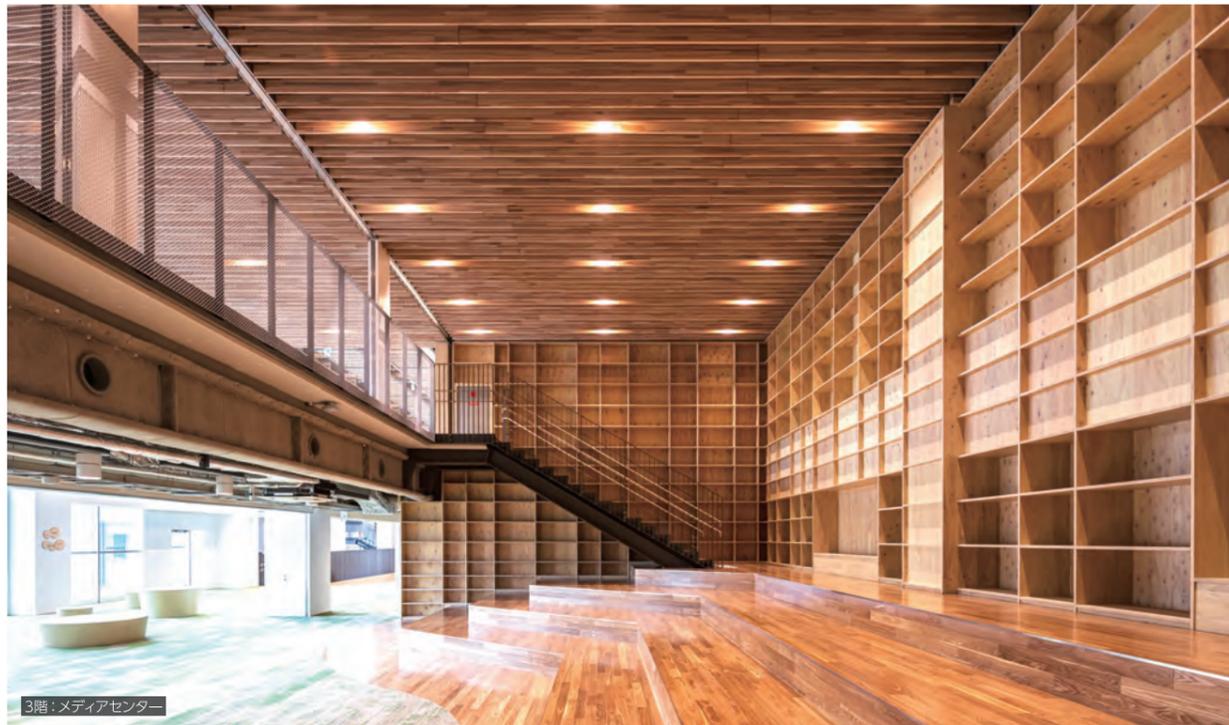


寝屋川市  
望が丘小学校・中学校

木造化 一部木造 木質化 木製品

小学校・中学校・児童福祉施設

写真提供：寝屋川市



3階：メディアセンター



木製家具



靴箱



外観・テラス

義務教育全体の質の向上と学校を核とした地域の活性化という構想に基づき、小学校2校と中学校1校を統合した地域の新たなアイコンとなる小中一貫校を整備しました。1,000人以上の子どもたちが9年間通う学校は、それ自体がひとつの「街」であると考え、多様な子どもたちがお互いを認め合い、また様々な個性を包摂できるおらかな「街」を作ることを目指しました。

**所在地** 寝屋川市打上高塚町  
**主要用途** 小学校・中学校・児童福祉施設・集会場  
**敷地面積** 30,677.44㎡  
**構造/階数** 鉄骨造/地上5階  
**建築面積** 8,312㎡  
**延べ床面積** 19,484.81㎡  
**耐火性能** 耐火建築物  
**使用木材** 国内産ほか  
**木材使用量** 教室等 300㎡/体育館 100㎡  
テラス 40㎡/家具・備品 139㎡  
合計 579.00㎡ (うち、国内産 170.30㎡)  
**設計監理** 梓・隈研吾・オオバ共同企業体  
**施工会社** 株式会社鴻池組大阪本店  
**竣工年月** 2024年1月



大阪市西区  
湯元「花乃井」スーパーホテル大阪天然温泉

木造化 一部木造 木質化 木製品

ホテル

写真提供：株式会社スーパーホテル



ロビー



ロビー

スーパーホテルでは、LOHAS (lifestyles of Health and Sustainability) をホテル運営の基本コンセプトとし、Natural, Organic, Smart な体験をお客様にお届けする事を目指しており、人にも地球にもやさしいホテル運営を行っています。リニューアルの際などに地元木材の活用をできないかいつも検討しています。その中で、大阪では「大阪府 CO2 森林吸収量・木材固定量認証制度」がある事を知り、スーパーホテル大阪天然温泉のリニューアルにおいて、地元木材の活用を実施しました。弊社のコンセプトにもある「Natural」を表現する方法として非常に効果的であると考えています。来館されるお客様の中で、興味を持たれる方もいらっしゃいます。人にも環境にも優しいホテルを目指している中で、自分たちが働く環境に地元木材が活用されている事は、環境教育の一環にもなり、自発的な取り組みを生んでいく事につながると感じています。

※大阪府CO<sub>2</sub>森林吸収量・木材固定量認証 (令和5年度)

|   |   |
|---|---|
| <b>所在地</b> 大阪府大阪市西区   | <b>耐火性能</b> 耐火建築物                             |
| <b>主要用途</b> ホテル   | <b>使用木材</b> ヒノキ材 (大阪府内産)                      |
| <b>敷地面積</b> 1,448.56㎡   | <b>木材使用量</b> 1.43㎡                            |
| <b>構造/階数</b> 本館：鉄骨鉄筋コンクリート造、<br>鉄骨造/地下1階 地上15階<br>別館：鉄筋コンクリート造、<br>一部鉄骨造/地上9階 | <b>CO<sub>2</sub>固定量</b> 1.1t-CO <sub>2</sub> |
| <b>建築面積</b> 1,078.30㎡   | <b>設計監理</b> 株式会社小松義博建築都市<br>ワーク株式会社           |
| <b>延べ床面積</b> 11,214.344㎡  | <b>設計事務所・プランニング</b> タック株式会社                   |
|   | <b>施工会社</b> タック株式会社                           |
|   | <b>竣工年月</b> 2024年1月                           |



大阪市西淀川区  
大阪府立出来島支援学校

木造化 一部木造 木質化 木製品

支援学校

写真提供：大阪府



フローリング



ルーバー

家具

大阪府では、閉校した高校を活用した支援学校の新校整備に当たり、大阪府木材利用基本方針に基づいて、共用部への国内産木材の活用や、既存の教室等のフローリングの再利用を行い、児童生徒が学校生活の中で日常的に木材に触れ・体感できる空間をつくりました。木材の柔らかく温かみのある感触や優れた調湿効果による、豊かで快適な学習環境を整えたほか、SDGsの観点からも、児童生徒の環境問題に対する意識醸成に繋げることができました。

**所在地** 大阪市西淀川区  
**主要用途** 支援学校  
**敷地面積** 33,823.8㎡  
**構造/階数** 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造/地上4階  
**建築面積** 5,760.76㎡  
**延べ床面積** 15,748.26㎡  
**耐火性能** 耐火建築物  
**使用木材** フローリング：カバ、ナラ  
ルーバー：スギ  
家具：カエデ、ナラ  
全て国内産  
**木材使用量** 149.20㎡  
**設計監理** 建築・構造：株式会社総企画設計  
設備：株式会社新日本設備計画  
**施工会社** 建築：富国建設・旭工建特定建設工事共同企業体  
機械：主計管工株式会社  
電気：大浪電設株式会社  
**竣工年月** 2024年2月